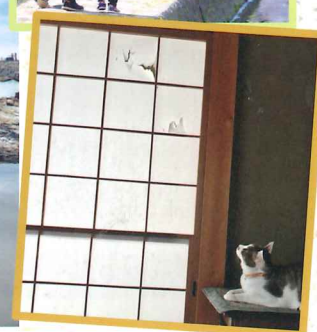
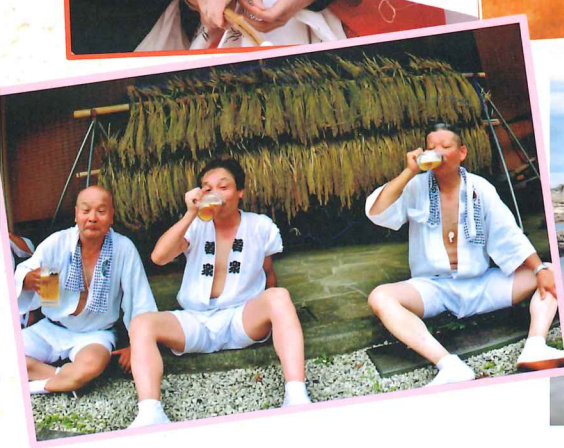
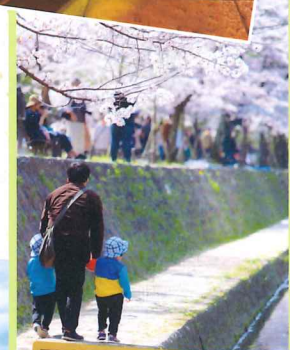
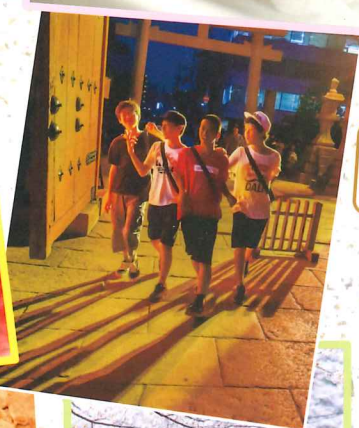
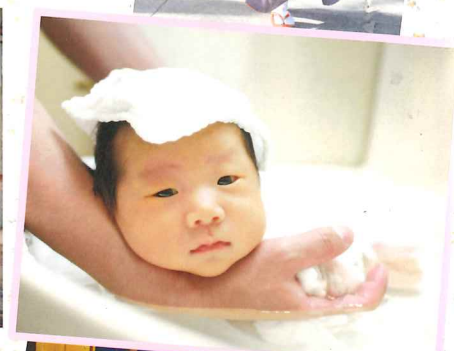


西宮 えびす

令和四年 新春号



第一回 えびすフォトコンテスト

謹んで新春のご祝詞を申し上げ、

西宮神社宮司 吉井良昭

氏子・各講員そして

ご崇敬の皆様のご益々のご繁栄をお祈り致します。

令

和元年度より三ヶ年計画で実施しておりました重要文化財表

大門と同大練塀の保全修理工事が、前者は同二年八月、後者は三年十一月に滞りなく完了致しました。

この表大門は古くから赤門と呼び親しまれ、京都から西国街道、大坂から中国街道で西宮宿に至ると、宿場西側の街道突当りに丹塗りも鮮やかに四脚の門を構え、参勤交代で通行する諸大名、西宮宿に止宿したシーボルトや曾良(奥の細道で芭蕉に同行)等歴史上の人物を始め、伊勢参宮などの社寺参拜で行き交う庶民まで多くの旅人が目にし、参入した表門です。最近では「十日えびす」の開門神事で脚光を浴び国中の知るところとなっております。このたびの工事で建造に関わる墨書が発見され、創建年について新たな課題が投げかけられました。

一方、大練塀は福の神としてえびす信仰が広がり、社勢が大きくなり、びた室町期に築造されたものと伝えられ、その後の幾たびかの戦乱や災禍から神社を守り続けてきた全長約二四七メートルの土塀です。

今回は経年により土が剥がれ落ちた部分を補修したもので、既存土との親和性を図ることや狭い補修部分を本来の版築工法で行うという繊細な工事となりました。新たに補修された壁土にはくつきりとし、杉板(梓板)の木目が表れています。

新年を迎えご家庭や商売に大きな福を授かろうと参拝が続く十日えびすは、賑やかで華やかな神事と紹介されますが、五百年前にはこの神事を忌籠と記しているように本義は厳肅なる「慎み」にあります。

この忌籠を視覚的に理解できるのが、神社の内と外とを峻別する大練塀と表大門であり、この門扉を閉じることにより結界としての役割が成就し、忌籠の時が始まります。この慎みの時を経て執行する十日えびす大祭によつてご神威は大いに高まり、廣大無辺なるえびすさまの福を授かっていただくこうと表大門が開門されます。これが「開門神事」です。

このように表大門と大練塀は、境内の永続的な維持管理のためであるとともに、十日えびすに於ける聖俗の結界としての機能を持つ極めて重要な建造物です。関係者の優れた知見、技術で修復できましたことは、先人から受け継いだ神事、習俗の再確認を促し、更に後世に確実に伝えていかねばならない務めを強く意識するところとなりました。

新型コロナウイルスの流行、収束の流れの中、本年は既存の考え方がふり分けられてコロナ前とは違う新たな世界が広がるとしても、変わることなくあたたかな御神徳をお授けになるえびす大神さまのご加護のもと、福に満ち満ちた年となりますようお祈り申し上げます。

正月・
十日えびす

新型コロナウイルス感染症 予防対策の取り組みについて

◎当社では、ご参拝の皆様のご健康と安全を考慮し、それぞれの施設ごとの感染症防止対策を実施しています。

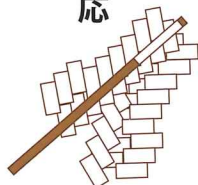
■境内における対応

- 各授与所、窓口に飛沫防止シートを設置し、職員は消毒を徹底してマスク着用にて対応します。
- 境内各所に消毒液を設置し、不特定多数の方が触れるものへの消毒を徹底します。
- 手水舎は閉鎖します。
- 境内末社の鈴緒は取り外します。
- 境内の露店を減らし、参道を広くします。
- 授与所の配置を変更し、滞留場所を広く確保します。
- 御朱印は事前に浄書した紙朱印・御朱印帳を授与いたします。



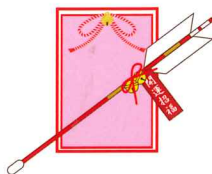
■ご祈禱の対応

- 十日えびす三日間はご祈禱の受付場所を神社社会館へ移し、ごゆっくりお待ちいただけます。
- 本殿での一度のご祈禱参列人数を半数に減らして密接を防止します。
- 郵送でのご祈禱のお申込みを承っております。



参拝に関する お願い

- 初詣（一日～三日）、十日えびす（九日～十一日）は混雑が予想されます。招福御幣や熊手等の縁起物、正月・十日えびす限定の授与品は、令和三年十二月一日～令和四年二月末まで授与しますので日を変更しての分散参拝にご協力をお願いいたします。
- ※福笹の授与は令和四年一月四日～二月末まで
- 境内ではマスクを着用し、大声での会話はできるだけお控えください。



大福初詣

だい
ふく
はつ
もうで

令和四年

正月・十日えびす

令和四年の正月・十日えびすは大変混雑が予想されます。

「密」を避け、安全にお参り頂くために日にちをずらした分散参拝にご協力お願い致します。

今年は『大福初詣』として

令和三年十二月一日〜令和四年二月末まで

招福御幣、干支物、熊手など授与しております。

※福笹の授与は令和四年一月四日〜二月末まで



◎中止事項

■正月

- 神社会館での屠蘇・茶菓接待（神社会館閉鎖）
- 境内振舞い酒、えべっさんの酒販売
- 御朱印の朱印帳への浄書（事前に浄書した朱印帳・紙朱印を授与いたします）
- 境外露店出店
- 福神カレンダー配布
- 十日えびす
- 神社会館での神賑行事
- 福男の認定（開門神事は斎行）
- 「開門神事参拝証」授与
- 会館・おかめ茶屋でのお茶券の使用
- 奉納大まぐろへの賽銭の貼り付け
- 境外露店出店
- 九日有馬温泉献湯式
- 芸妓による拝殿での湯もみ
- 御朱印の朱印帳への浄書（事前に浄書した朱印帳・紙朱印を授与いたします）



正月・十日えびす 郵送祈禱のご案内



新型コロナウイルスの影響により外出自粛をされている方、遠方にお住まいの方など諸事情により正月十日えびす期間中に参拝の叶わない方には郵送による申込みを承っております。

●郵送でのお申込み方法

① 郵送での祈禱をご希望の方は、振込用紙を送付致しますのでご連絡下さい。

② 振込用紙に必要な事項を記入し、お近くの郵便局にてお振込み下さい。

③ お申込み内容を確認の上、神職が祈禱奉仕致します。

④ 1月下旬頃、お下がりをお送りいたします。

正月・十日えびす

郵送祈禱の特別お下がり

祈禱料

10,000円以上

- 郵送特別撤供
- 特製ミニ福笹 (高さ30cm)
- 御神酒
- えびすそば



祈禱料

30,000円以上

- 郵送特別撤供
- 特製ミニ福笹 (高さ30cm)
- 御神酒
- えびすそば



十二月二十五日までに
お申込み下さい。

担当：西宮神社祭祀課 Tel:0798-33-0321 メール:saigi@nishinomiya-ebisu.com

◎新年ご祈禱のご案内

十日えびす三日間はご祈禱の受付場所を神社社会館へ移し、ごゆつくりお待ちいただけます。

本殿での一度のご祈禱参列人数を最大三十名までに減らして密接を防止します。

一日 午前〇時～午後六時

※一日午前〇時からの一番二番三番祈禱に来られた方には「元旦祈禱札」を特別にお授けします。

二、三日 午前九時～午後六時

四～八日 午前九時～午後四時(祈禱殿)

九、十一日 午前八時～午後十時五十分

十日 午前六時～午後十時五十分

十二日以降 午前九時～午後四時(祈禱殿)

ご祈禱料 個人五千元～法人二万円

※十日えびすにご祈禱料二万円以上お納めいただいた方には、神楽券をお渡しいたします。

参道ライブ配信のご案内

令和三年正月・十日えびすでは参拝者の方々に安心して参り頂くために、当日の参道の様子をライブ配信しました。令和四年正月・十日えびすでも配信予定となっておりまして、参道の様子をご覧いただき分岐してお参りください。



◎年末年始行事予定

十二月二十七日 十時 煤払祭

三十一日 十六時 大祓式

十八時 除夜祭

一月一日 六時 歳旦祭

二日 十時 奉射事始祭

三日 九時半 元始祭

五日 十一時 境内末社百太夫神社祭

七日 十時 昭和天皇祭遷拜

八日 九時頃 招福大まぐろ奉納式

九日 十四時 有馬温泉献湯式(宵えびす)

十六時 十日戎宵宮祭

十日 四時 十日戎大祭(本えびす)

六時 開門神事

十一日 (残り福)

十五日 十時 十日戎報賽祭

◎福火点灯

十二月三十一日 十八時三十分～翌十七時

一月二日 八時～十七時

一月三日 八時～十七時

十五日 七時半～十七時

二月三日 十七時～二十時





第一回えびすフォトコンテスト

『わたしの幸福』 受賞作品発表



最優秀賞

インスタグラムの部
『優しく…やさしくね…』@maco_keychan様



最優秀賞

現像写真の部
『笑顔の理由』小林哲也様

西宮神社では、新型コロナウイルス

ウィルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令等により、参拝を控えられておられる方々も多い中、社頭の様子を伝える為に公式インスタグラムを令和三年三月に新たに開設しました。

そして自宅からでも神社との繋がりを持つて頂く「計として」第一回えびすフォトコンテスト」を計画し令和三年六月一日～八月三十一日の期間募集しました。当社のご祭神であるえびすさまは、七福神の中でも特に福々しいご神徳があることから今回のテーマは「わたしの幸福」としました。

期間中「現像写真の部」二〇八点、「インスタグラムの部」二

三二五点の応募があり、九月

十三日に当社宮司と地元写真

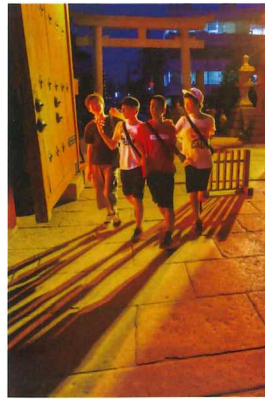
店(いぬづか写真室・長崎写真

場)の協力による審査の結果、

最優秀賞(現像写真の部)一点



長崎賞 『極楽極楽』
(インスタ) @happy_yoga_maiko様



いぬづか賞 『仲良し四人組』
(現像写真) ヨッコン様



宮司賞 『はい!チーズ』
(現像写真) 森田 栄一様



『風をあつめて』
(インスタ) @evans.piano様



『ささやかな悪戯』
(インスタ) @8zitan様

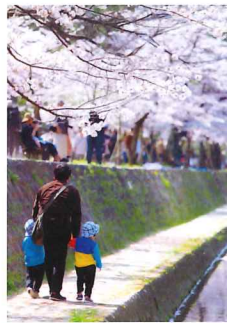


『ママとお腹のあかちゃんへ』
(インスタ) @89anna_ty様

入賞
8作品



『神さまへのお願い』
(現像写真) narinari202様



『帰り道』
(現像写真) 玉井 太一様



『大好きなすいか』
(インスタ) @rii1ho様

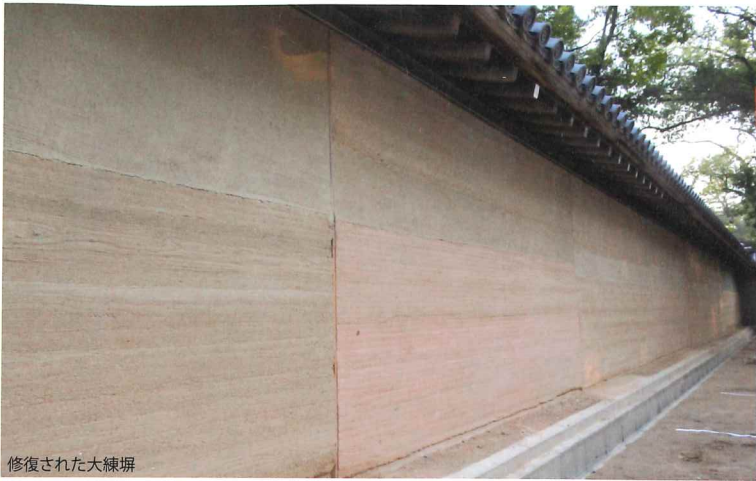


『夏祭りの日』
(現像写真) 星野 郁男様



『えびす顔』
(現像写真) 三ツ川 智大様

インスタグラムの部一点二点、
宮司賞一点、いぬづか賞一点、
長崎賞一点、入賞八点の計十
三点が決定し、また受賞者
には、黄金のえびす像などの
賞品が贈られました。



修復された大練塀



大練塀修復前



重要文化財 大練塀 保全修理工事竣工

おねりべい

当

社の大練塀は、境内の東面から南面にわたって築かれている全長二四七メートルの築地塀（土塀）で、名古屋市熱田神宮の信長塀・京都市三十三間堂の太閤塀と合わせて日本三大練塀と称され国の重要文化財に指定されています。

この度令和元年度から三年かけて行っていた保全修理工事が十一月に竣工しました。

今回の修理では、阪神大震災で崩落し版築修理した表大門から北側の練塀の下部が大きく崩れてしまった為、まず元年度に大練塀剥落の原因調査・試験施工を実施、二年度に試



験施工の経過観測、また調査の結果を踏まえ本施行方法の検討をしました。確定的な原因は判明しませんでした。大きな要因の一つとして大練塀の土中の水分・湿度が影響して崩れの原因になっているとの見解でした。

そして令和三年度は剥落した練塀の版築修理をするとともに、調査の結果を踏まえて全ての塀沿いに排水路を整備して水気が塀の近くに溜まらないよう排水工事をしています。

ご参拝の際には、令和二年に美しい彩色で塗り替えた表大門とともに是非ご覧ください。



7月に行われた現地説明会の様子



雨樋設置



鎖樋設置



整備された排水路

『思い出收藏品展』

令和三年十一月(月)～十二月(土)六日(日)
開館時間：午前九時～午後四時

海上渡御再興20年記念御朱印帳



式年造営記念タバコ入れ



南神門復興工事竣工記念はさみ



表大門修復記念 框古材

西 宮神社のえびす信仰資料展示室では、十一月一日～十二月二十六日まで第三十五回企画展として「思い出收藏品展」を開催しています。

昭和九年の式年造営にあたり調製された記念品の「タバコ入れ」や、平成三年の南神門復興工事竣工のテープカットに使用された「黄金のはさみ」、平成十二年に再興された海上渡御祭の二十年分の記念品、令和二年の表大門（赤門）の保全修理工事を記念して古材を加工した記念品や、現在も授与している「赤門大福守」など、今回の展示は今まで授与した記念品や、広報ポスターなど昔なつかしい品を、昭和、平成、令和と時代ごとに賑やかに展示し、時代と共に移り変わる西宮神社の歴史の足跡を辿ります。

また第一回えびすフォトコンテスト「わたしの幸福」の受賞作品十三点も展示しております。どの作品も幸せそうで素敵な写真です。

ご参拝の際には、是非お立ち寄り下さい。

次回展示企画 第36回企画展



人形劇の図書館コレクション展 第二弾

『世界が見た街頭紙芝居展』

令和4年1月15日(土)～3月31日(木)
開館時間：午前9時～午後4時

フランスで開催された街頭紙芝居展の様相

街頭紙芝居は昭和5年から35年頃までという比較的短い年月の間であったが、毎日自転車やってくる街頭紙芝居は、子どものための文化の最たるものでした。TVの台頭による、映画館などあらゆる庶民娯楽の衰退と共にあつという間に消えていったが、近年そうした世代のノスタルジーだけでなく、印刷された教育紙芝居と違い、一枚一枚手描きの肉筆画の街頭紙芝居の存在感が、あらためて魅力的なメディアとして注目され、日本だけでなくKAMISHIBAIは世界中にひろがっています。

人形劇の図書館は、その貴重な肉筆の街頭紙芝居を約500巻(1巻10枚程度)収蔵し各地で展示も行ってきました。2年前のフランスでは開催したギャラリーで過去最高の入場者を記録し、GAITO KAMISHIBAIは紛れもなく世界の注目を集めはじめています。

ひと昔前、西宮神社境内や近辺でも街頭紙芝居に集まる子どもたちの姿があっただろうし、今回の神社の森を背景にした展示は、「街頭紙芝居」の持つ不思議な魅力を感じてもらえることでしょう。

今後の
西宮神社の
取り組み

重要文化財保全修理
工事竣工記念事業

えびす懸賞論文募集

令和二年度重要文化財表大門塗替え工事、令和三年度同大練塀修理工事竣工を記念してこの度、「えびす懸賞論文」を募集します。

えびす信仰（えびすさま 西宮神社・社務日誌など）をテーマに論文を募り、研究奨励をするともに、次世代を担う方々の叡智を通じて調査、研究の新たな切り口を発掘し、えびすさまの御神徳が益々発揚されることを期待します。

【テーマ】「えびす信仰について」

西宮神社のえびす信仰や全国各地のえびす信仰について

【募集期間】令和四年四月一日～九月三十日迄

【応募資格】日本国内在住の方であれば、

どなたでもご応募出来ます。（共同執筆不可）

【賞】

- 最優秀論文賞（えびす賞）表彰状、賞金三十万円、記念品
- 優秀論文賞（宮司賞）表彰状、賞金十五万円、記念品
- 奨励賞（若えびす賞）表彰状、賞金十万円、記念品



詳細は西宮神社公式HPをご覧ください。



全国えびす像
蒐集活動

山形県「成島焼」
和久井窯様から
ご奉納頂いたえびす像



京都府「京焼」



石川県「九谷焼」



山口県「萩焼」



えびすさまといえは右手に釣竿、左脇に鯛を抱えた烏帽子狩衣姿で知られ、全国のえびす神社でも人目に触れるように様々なご神像がおまつりされています。

えびす信仰の特色のひとつとしてそのお姿が信仰の対象としては勿論のこと、縁起物や土産品として全国各地で多く作られています。

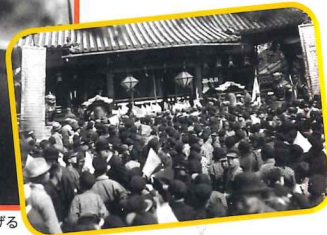
その中でも当社では、令和三年度よりえびす信仰資料蒐集、また教化活動の一環として四十七都道府県の窯元にご連絡してえびすさまの焼き物を調査して随時蒐集しております。

今年度は山形県成島焼和久井窯様からのご奉納も含めた三体のえびす像を蒐集しました。以前より蒐集している分も併せて十体のえびす像がそろっています。

令和七年の西宮市制百年までに全国えびす像蒐集を完了し、当社資料展示室で企画展示を予定しておりますので是非お立ち寄りください。



全国「西宮」調査



市民も参列して祝杯をあげる

市民を迎えて祝賀式



西宮市は大正十四年四月一日に誕生し、この日は朝から晩まで市民がこぞってお祝いしました。また西宮神社でも市制施行の式典が行われ奉告祭を執り行い盛大にお祝いした記録が残っております。四年後の令和七年には西宮市制百年を迎えます。

当社では市制百年を記念して全国に散見する「西宮」を種別（地名・神社名・西宮と刻まれた石造物・旅行記・交通道標など）に収集・調査し記念冊子を刊行すべく現在準備を進めております

皆さまのお近くで「西宮」を見かけましたら当社まで情報をお寄せください。

西宮神社総務課

ebisu@nishinomiya-ebisu.com

TEL 0798-33-0321



大阪湾岸 えびす信仰調査

大阪湾岸に於けるえびす信仰の広がり、現状を明らかにする為、平成二十一年四月から大阪湾沿岸部の、明石市大久保町・江井ヶ島付近から、大阪府岬町、和歌山市加太地区まで、また淡路島東岸部の淡路市(旧淡路町)松帆浦恵比須神社から、洲本市由良の戎神社付近までの、各市町村に職員が出向き、えびすさまを祀る神社・漁業協同組合の祠等約百社を調査しております。

近日中に調査報告を神社HPにて更新する予定となっております。



令和3年5月 カーネーション



令和3年9月 菊



令和3年4月 五葉松、芍薬

毎月十日の十日参りを華やかにする為に、令和三年四月より西宮神社華務長岡田芳和先生、華務職岡田脩克先生、白井陽甫先生に毎月季節の花を生けて頂いております。

本殿にお供えしていただきますので、中旬祭にご参り頂き、祭典と共に毎月変わりゆく様々な生け花をお楽しみ下さい。



※写真はご会食プラン¥8,500(会席料理)

ご会食プラン
 会席料理 ¥8,500
 御膳料理 ¥6,000
 お子様料理 ¥3,500・¥5,500
 お食い初め膳 ¥3,800



お宮参り
 百日祝い
 (お食い初め)は、
 えびすさまで♪



お母様の
 ヘアセット
 着付け
 写真撮影も
 承ります。

※写真は¥5,940(税込)料理

お持ち帰り用
 折詰弁当 ¥3,780・¥5,940
 お食い初め重 ¥4,860

※表示価格はすべて税込価格。

info@jinjakaikan.com 西宮神社会館 ☎(0798)23-3311

西宮神社
 公式ホームページで最新情報を
 公式Instagramも開設!
 ご覧ください。



西宮神社
 公式サイト



西宮神社
 公式Instagram

西宮神社 公式サイト 検索
<https://nishinomiya-ebisu.com>

本年は新型コロナウィルス感染拡大の影響で、八月西宮・伝統芸能の夕べ「文楽」釣女も奉納中止、また九月海上渡御が中止になるなど人が集まっていたの神事行事が残念ながら行えませんでした。今号ではそのようなコロナ禍でも皆様とえびすさまとの繋がりを絶やさないよう企画した、えびすフォトコンテスト開催やえびす信仰についての懸賞論文募集などの内容も掲載しておりますので一読いただければ幸いです。また令和七年四月一日に西宮市制は百年を迎えます。大正十四年に西宮市が誕生した際には、当社で市制施行の式典、奉告祭が執り行われ多くの市民が境内に集まった記録があります。令和七年一月一日に盛大に奉祝祭を斎行すべく、現在本殿・拝殿銅板葺き替え事業を計画しております。また併せて今号で紹介した全国「西宮」調査記念冊子刊行や境内整備事業計画も進めております。詳細が決まりましたら皆様にお知らせいたしますのでご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

一日も早く新型コロナウィルスが終息し、世界が穏やかになりますようお祈り申し上げます。

編集室から